

- 第 14 回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会幹事会
第 14 回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会幹事会
第 14 回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会幹事会
第 14 回 鳥取県東部地区 流域治水及び減災対策協議会幹事会
第 17 回 鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会幹事会
第 13 回 鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会幹事会

[同時開催]

議事概要

1 日時 令和 7 年 5 月 9 日（金）午後 2 時 00 分～4 時 20 分

2 会場 オンライン会議

3 出席者 別紙参照

4 議事

- (1) 規約改正について（国・県）
- (2) 令和 7 年度の出水期の天候の見通しについて（气象台）
- (3) 令和 6 年度・7 年度の減災に係る取組について（国・県・各機関）
- (4) 二級水系流域治水プロジェクトについて（県）
- (5) その他

- ①各水系大規模氾濫時の減災対策協議会の第 2 期完了から第 3 期への取組について（お知らせ）（国）
- ②令和 6 年度の出水における河川整備の効果事例の紹介（国）
- ③洪水予報システムの変更について（国）
- ④防災重点農業用ため池と田んぼダムの全県展開について（県）
- ⑤雨水貯留タンク等の取組拡大に向けて（県）
- ⑥国土交通省からの情報提供（国）

5 議事概要

- (1) 規約改正について（国・県）
 - ・ 鳥取県から、組織改編等による幹事会構成員の役職変更に伴う規約の改正点について説明。
 - 質問・意見等なし

(2) 令和 7 年度の出水期の天候の見通しについて (気象台)

- ・ 鳥取地方気象台から、令和 7 年度出水期の天候の見通し、および令和 8 年度の出水期から開始する防災気象情報の改善運用について説明。
→洪水予報河川および水位周知河川のレベル 5 相当情報の名称は「氾濫発生情報」から「氾濫特別警報」に変更するということか。(中国四国農政局)
洪水予報の名称は変わらず、位置付けが変更になる予定であるが、まだ検討中の段階であるため、正式決定後に再度周知する。(鳥取地方気象台)

(3) 令和 6 年度・7 年度の減災に係る取組について (国・県・各機関)

- ・ 鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所および鳥取県から、令和 6 年度に実施した取組について報告。
→鳥取県資料 73 頁の事前放流の諸元は、外部に公開されることになるが、これまでに公開している資料か。(中国四国農政局)
HP 上で公開しており、毎年この会議にて報告することとしている。(鳥取県)

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて (県)

- ・ 鳥取県から、二級水系流域治水プロジェクトにおける、流域治水の全県展開の取組および取組状況について説明。
→質問・意見等なし

(5) その他

①各水系大規模氾濫時の減災対策協議会の第 2 期完了から第 3 期への取組について

(お知らせ) (国)

- ・ 倉吉河川国道事務所より、第 3 期となる次期 5 カ年の取組方針に関する事務連絡が今後本省より通達される予定のため、各水系協議会において令和 7 年度中に次期方針のとりまとめを行う旨を周知。
→質問・意見等なし

②令和 6 年度の出水における河川整備の効果事例の紹介 (国)

- ・ 日野川河川事務所より、令和 6 年 11 月の出水における河川整備の効果事例について説明。
→質問・意見等なし

③洪水予報システムの変更について (国)

- ・ 鳥取河川国道事務所から、洪水予報システムの変更点について説明。

→洪水予報システムについて、新年度にメールアドレスの変更などがあった場合には、確実に送受信できるようにしておく必要があるため、各機関でテスト送信を実施するなどによりご確認いただきたい。(倉吉河川国道事務所)

→新様式では、超過した時間はグラフの一番左側に表示されるということか。(鳥取県) 認識のとおりである。一方で、洪水予報は河川全体で発表される関係により、洪水予報文には最も危険度の高い箇所の詳細情報が表示され、他の観測所の基準水位超過時刻については、洪水予報文には記載されないことに留意いただきたい。(鳥取河川国道事務所)

→資料7頁について、新旧の変更点は同じ警戒レベルで比較できるようにしてほしい。

(中国四国農政局)

既に新システムに移行しており、同じ警戒レベルでの比較を示すことができなかった。(鳥取河川国道事務所)

④防災重点農業用ため池と田んぼダムの全県展開について(県)

- ・ 鳥取県から、田んぼダムの取組拡大の施策について説明。
→質問・意見等なし

⑤雨水貯留タンク等の取組拡大に向けて(県)

- ・ 鳥取県から、雨水貯留タンク等の取組拡大に向けた取組について説明。
→質問・意見等なし

⑥国土交通省からの情報提供(国)

- ・ 鳥取河川国道事務所から、参考資料のうち川の防災情報のシステムアップデート、ワンコイン浸水センサの実証実験の参加自治体募集について説明。
→質問・意見等なし
- ・ 倉吉河川国道事務所から、緊急自然災害防止対策事業費が令和7年度で完了するため、事業延長が必要な自治体は申請するよう周知。
→質問・意見等なし

⑦全体を通じた質疑応答

- ・ 中国四国農政局から、幹事会の内容を本協議会で説明する場合は、時間内に収まらない旨を指摘。
→本日事務局から説明した項目は、必要最低限の内容に短縮し、意見交換の時間を多く取れるように調整する。